

大臣認定 F☆☆☆☆  
環境対応接着剤

ダイアボンド CK461

ダイアボンドCK461は、VOC対策をとった刷毛塗りタイプのクロロプレンゴム系接着剤です。

§ 特長

1. ノンホルムアルデヒド仕様です。
2. トルエン・キシレンを使用していません。
3. 可塑剤を使用していません。
4. 速乾性で、作業性に優れます。
5. 広範囲の材料に適用できます。
6. 耐水、耐老化性に優れます。

§ 用途

1. 自動車や車両の内装材の接着
2. 建築内装材の接着
3. ドア、間仕切パネル、家具、テーブル、サイジングボードなど各種建材の接着
4. その他 断熱材、繊維、木材、金属、ゴム、皮革の接着

☆ 被着材の組み合わせによっては、接着しにくいものがありますので、試験した上でご使用下さい。

§ 一般性状

主 成 分	クロロプレンゴム
外 観	黄褐色
不 揮 発 分 (%)	29.5 ± 1.5
粘 度 (mPa·s) at20°C	2,300 ~ 3,000
指触乾燥時間 (分) at20°C	1 ~ 3
粘着保持時間 (分) at20°C	20 ~ 30
保 証 期 間 (月) at25°C	6
引 火 点 (°C)	-17
発 火 点 (°C)	240

§ 使用方法

1. 前処理 被着材表面の水分やゴミ，油などを除去し、汚れのないよう清浄にします。
2. 塗布方法 刷毛，ブラシなどで被着材の両方に接着剤を均一に塗布します。  
塗布量は、片面当たり 180～250 g/m<sup>2</sup>（両面で 360～500 g/m<sup>2</sup>）塗布して下さい
3. はり合せ 常温にて 5～20 分間乾燥してからはり合せます。
4. 加 圧 はり合せ後、充分に加圧して接着します。

§ 接着性能

1. 接着強さ

180 度方向はく離 (N/25mm)

		鋼板／綿帆布	アルミニウム板／綿帆布	ステンレス／綿帆布
常 態	1 時間	30	25	30
	24 時間	50	40	45
	48 時間	70	50	65
	96 時間	90	55	90
熱老化	70℃・96 時間	100	60	100
耐 熱	80℃	45	35	45
耐 水	48 時間	65	40	30

試験方法：JIS K 6854 に準ずる

2. 軟化温度

1 日目	180 ～ 200 °C
4 日目	200 °C以上

試験方法：JIS K 6833 に準ずる

## § 注意事項

- ・ 保管中に分離することがありますので、使用前に全体が均一な層になるまで攪拌してご使用下さい。
- ・ 火気のあるところでは使用しないで下さい。
- ・ 取扱い作業場所には、局所排気装置を設けて下さい。
- ・ 取扱い作業中には、換気をよくし、蒸気を吸い込まないようにして下さい。
- ・ 取扱い中は、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて有機ガス用防毒マスクまたは送気マスク、保護手袋、前掛けなどを着用して下さい。
- ・ 火災時には炭酸ガス、泡または粉末消化器を用いて下さい。
- ・ 目に入った場合には、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
- ・ 蒸気、ガスなどを吸い込んで、気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診察を受けて下さい。
- ・ 誤って飲み込んだ場合には、水で口の中を良く洗い、ただちに医師の診察を受けて下さい。
- ・ 皮膚に付着した場合は、すぐに付着物を拭き取り、水と石けんで良く洗います。
- ・ 容器を密閉にして、直射日光の当たらない場所で、5℃～35℃で保管して下さい。
- ・ 凍結に注意して下さい。
- ・ 容器からこぼれた場合には、布で拭き取って、密閉できる容器に回収して下さい。
- ・ 空容器は、中身を使い切ってから廃棄して下さい。
- ・ 接着剤を廃棄する場合、産業廃棄物の許可を受けた専門業者に委託して下さい。
- ・ 子供の手の届かないところに保管して下さい。
- ・ 本来の用途以外には使用しないで下さい。
- ・ 消防法：第四類第一石油類（非水溶性液体）（危険等級Ⅱ）に該当

☆ 上記の接着性能データは、当社実験室で得られた値ですので、接着剤選定の目安としてご使用下さい。環境条件や作業条件などにより、得られる値も変化しますので、より正確な接着性能を求めたい場合は、それぞれの用途に合わせて確認試験されることをお勧めします。